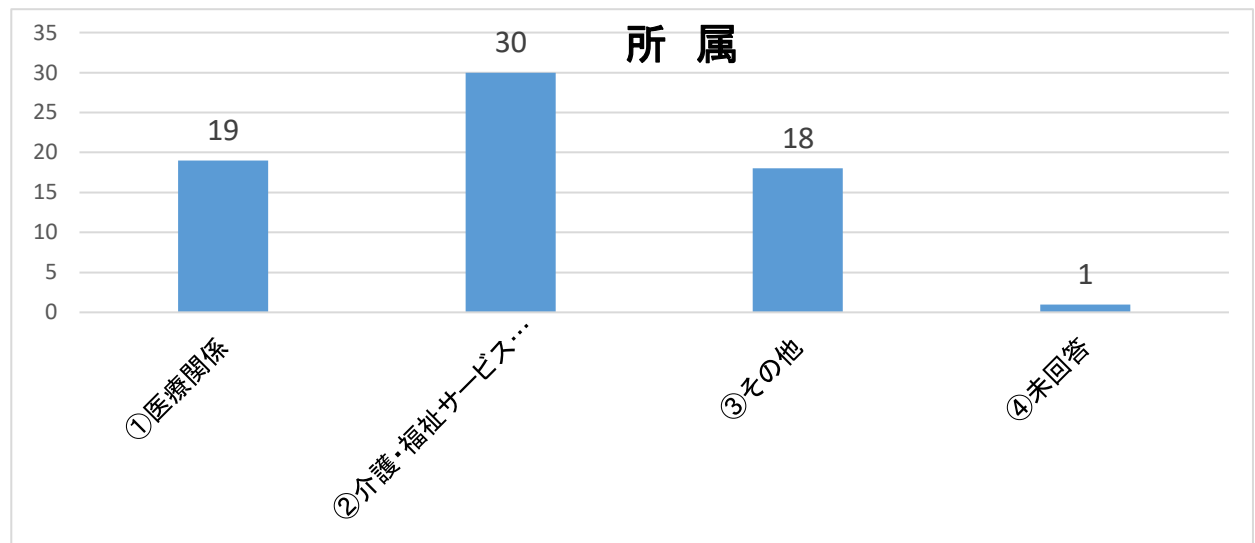


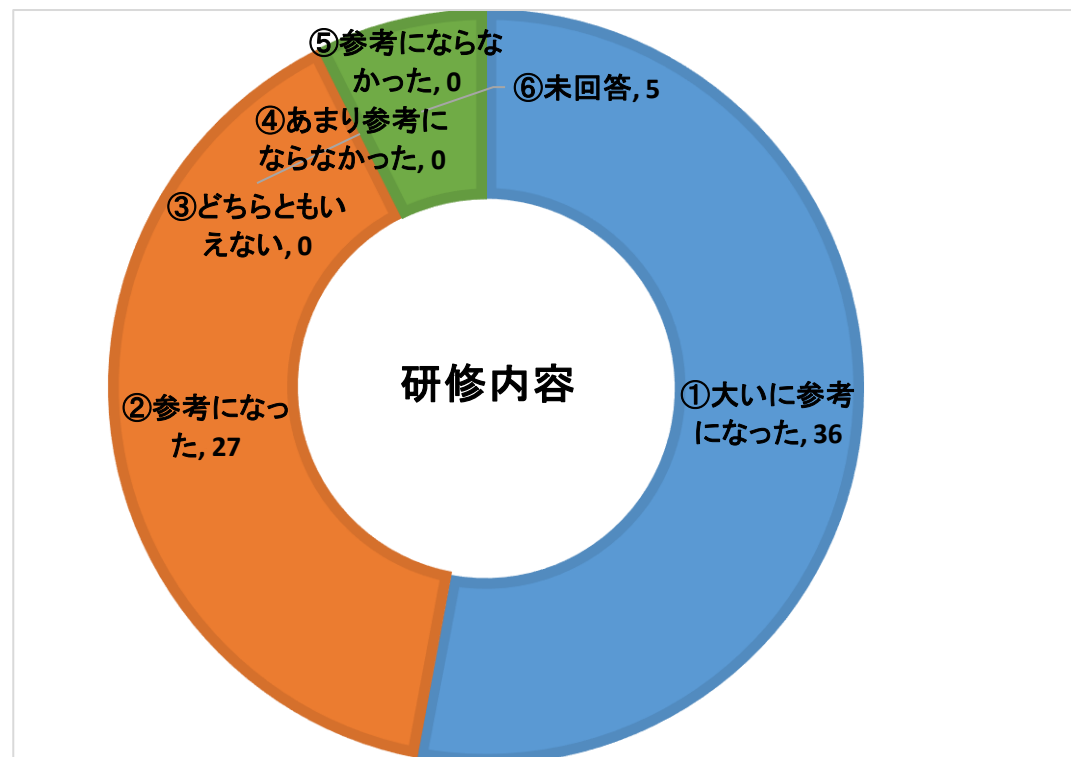
新型コロナウイルス感染症対策研修会(R2. 8. 3) 参加者アンケート集計結果

研修会参加者数 73名 アンケート回答者数 68名 回収率93. 2%

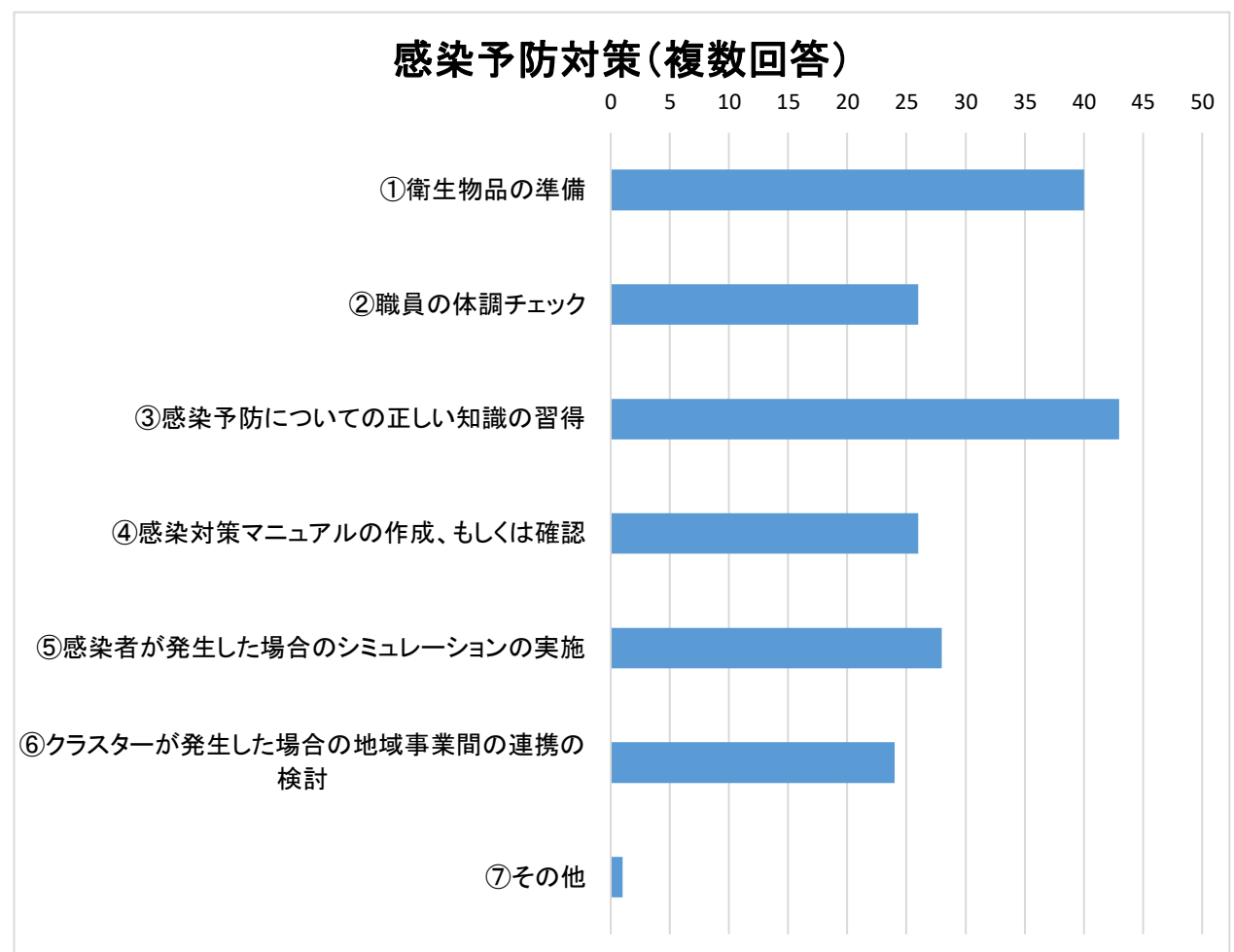
1. 所属	回答数	率
①医療関係	19	27.9%
②介護・福祉サービス関係	30	44.1%
③その他	18	26.5%
④未回答	1	1.5%
計	68	100%



2. 研修内容	回答数	率
①大いに参考になった	36	52.9%
②参考になった	27	39.7%
③どちらともいえない	0	0.0%
④あまり参考にならなかった	0	0.0%
⑤参考にならなかった	0	0.0%
⑥未回答	5	7.4%
計	68	100%



3. 感染予防対策	回答数	率
①衛生物品の準備	40	21.3%
②職員の体調チェック	26	13.8%
③感染予防についての正しい知識の習得	43	22.9%
④感染対策マニュアルの作成、もしくは確認	26	13.8%
⑤感染者が発生した場合のシミュレーションの実施	28	14.9%
⑥クラスターが発生した場合の地域事業間の連携の検討	24	12.8%
⑦その他	1	0.5%
計	188	99%



その他	平時の備え
-----	-------

(医療関係者)

<p>4. あなたやあなたの施設で、新型コロナウイルスで困ったことは何ですか。主なものをあげてください。</p>	<p>5. 今後の再流行(第3波)に備えて、北空知広域で取り組むべき対策等について、ご意見があればお書きください。</p>
<p>知識がない、意識が低いための誹謗・中傷等による偏見に対する対応に困惑します。 医療従事者でさえもその部分を感じとても残念に思っています。</p>	<p>1. 感染防御に向けた知識・技術の普及(地域住民等) 2. 現場と行政の連携 3. PPEの備蓄 4. メンタルサポートの準備と整備(不安・恐怖に対する対応)</p>
<p>コロナの受け入れ病院から他院や施設への受け入れ拒否などがあり困惑をしました。また、コロナに対するスタッフへの心ない言葉があり、切ない思いをしました。 医療者として正しい知識をもって患者、住民、スタッフへ対応していきたいと思いました。</p>	<p>自施設でウイルスの拡散のための対応が難しくなった時に医療機関への受け入れや陰性化した方(利用者さん)を他施設等で受け入れしてくれるような体制は保健所の方や対策本部の方で対応していただけるのか、少し不安がある。</p>
<p>・何をどこまで消毒する必要があるのか(業務の都合上限界がある) ・コロナウイルスに対して、過敏になりすぎている市民への対応。(1日中ずっと家にひきこもりがちになり、うつ症状が見受けられる)</p>	<p>・備蓄すべき物品を具体的に示していただきたい。 ・感染症の情報も正しく公表していただきたい。 ※講師の渡辺先生、時間厳守ですばらしい。貴重なお話ありがとうございました。</p>
<p>情報不足、情報交換が出来ずらかったこと。不安です。</p>	<p>各機関での協力体制</p>
<p>・物品の不足(消毒、マスクなど) ・訪問ができず、住民とのコミュニケーションがとりにくい時期がありました。</p>	<p>地域として対応を検討してほしいというのは大事、必要です。</p>
<p>N95等の資材不足</p>	<p>行政等との横のつながりが必要だと思った。</p>
<p>待合室でのソーシャルディスタンスや換気、玄関での消毒を行っていても時間帯によっては混み合ってしまう、車内で待ってもらったり、外出してもらおうなどしたが、「早く帰りたい、終わらせてほしい」の声が多かった。</p>	<p>・衛生物品の準備、感染予防についての知識を職員のひとり一人が身に付けておくことが必要だと思いました。</p>
<p>コロナウイルスに対する認識が人により様々だった。(マスクの着用についての必要性(手指消毒も)など)来院される際にマスク着用ないことが多く、装着していても、話をする時に外す人が多いなど。 マスク、消毒薬、滅菌グローブが不足し、納品ならなかった。</p>	<p>地域全体で協力できる体制を作りたいところだと思います。 大きな感染症(だけでなく、災害等)が流行し、1か所対策が取れる施設などがあるとよいですね。 各医療施設等から数名ずつでも、DMATみたいな、その施設の人員として協力できるスタッフを決めておくなどして、もしもの時に協力してもらえ医療機関を確保しておくとか、市町村、医師会などの機関を通すなど……、何かあった時に集まれる人員を確保できると良いと思います。</p>
<p>職員の知識の差が大きい事 PPE着脱ができていなかった。</p>	<p>流行時には感染者を拒否するのではなく、正しい防護の知識をもって診察してほしい。</p>
<p>北空知での感染状況がわからない</p>	<p>発生時、保健所対応強化。細かな指示(患者への)</p>
<p>患者さんの年代、地域によって意識のレベルに差が大きい。</p>	<p>北空知地域における発熱時の受け入れの流れの明確化</p>
<p></p>	<p>協力体制をいかにつくっていくか、ということだと思いました。</p>
<p></p>	<p>北空知広域、あるいは道として正しい知識を啓蒙してはどうでしょうか？ 世の中に情報が多すぎて不安や誤解が蔓延していると感じています。</p>

(介護・福祉サービス関係者)

4. あなたやあなたの施設で、新型コロナウイルスで困ったことは何ですか。主なものをあげてください。	5. 今後の再流行(第3波)に備えて、北空知広域で取り組むべき対策等について、ご意見があればお書きください。
体温計が売っていない	・アカシアハイツに立ち上げた現地対策本部のように深川市は迅速に入ってもらえるのか?
衛生物品の確保、施設内での予防	シミュレーション及び連携の共有
・利用者や家族から面会規制への質問「解除時期は？」 ・規制解除の根拠決め ・感染流行地域の往来禁止のチェックがしきれないこと(どこから来た来訪者か)	深川市では介護職の不足などがある中、入居者、利用者そして職員の感染拡大となった場合の対策、又対策本部などの体制について
入居者様のご家族が札幌方面で暮らしている方が多く、面会に来られるが、出入口が1個しかなく、また他職員も感染していないなら大丈夫じゃないかと言われ、本人の居室で面会されているが、感染しているのかどうかわからないのに簡単に許可してしまうこと。	新型コロナだけでなく、基本的な感染症蔓延防止に対する地域(移動制限など)
利用者家族の面会制限や職員の外出先の行動制限	北空知の対策本部の見える化をお願いします。
札幌市往来した人と接触した職員は2週間、仕事に出れなかった。	PPEの正しい着脱の仕方の講習会等定期的にしてほしい。
営業自粛判断	チェックシートなどがあればありがたい。
消毒液の確保や、その活用方法の正しい知識そして、現場職員に対して感染対策の手順の周知や他施設との取組の差別化や、職員のメンタルフォローなど	まず、行政が中心になって各事業所との共通認識(情報等)がもてるネットワークづくり。トリアージ、例えば段階を決めて、この段階では、これをやるなど。
ケアマネが自宅を訪問する際の注意点などを知りたい。	感染症予防のチェックリストの見える化
・物品が確保できない。 ・次亜塩素酸についての知識、自分は少しまちがっていたので正しく習得したい。	・軽症者の経過を見る場所の確保はどうなっているのか。 ・PPEの物品の確保 ・発生時すぐ現地に入ってくれるか。
外出、面会の制限、利用者、家族の協力 感染対策(日頃)をどこまですべきか	深川市でコロナ感染がしばらく出ていないことで、感染対策の意識が薄まっている。 再流行防止のためにも感染対策の(正しい知識を得る)研修や意識付け、啓蒙活動必要
職員の意識が低い。「多分大丈夫・・・」「まさか・・・」と考える者が多い。普通に宴会もしている。 民間業者から勧められれば、すぐに信用して変な消毒薬、除菌剤を購入する。それに専門職として意見すると全否定される。	軽症者の受け入れ施設の構築 濃厚接触者の自主避難所の設置 基本的な感染防護策をしつこいくらいに周知するしかないと思います。
入居者の身内が亡くなった時に外出したいと希望があった時、説明し、一度納得されても認知症のため何度も対応し時間を要した。	
発熱が家族にあった場合スタッフを休ませ、スタッフの補充	
利用者が入居者に対し行動の制限をかけてしまい、安心や安楽な生活を提供することが出来なかったこと。	

<ul style="list-style-type: none"> ・職員の不安(発生したらどうしよう、家族に出たら出勤できないなど) ・正しい知識が分からずどうしたらいいのか、整理していく作業(マニュアルづくり) 	
<ul style="list-style-type: none"> ・対応の仕方がわからない ・職員の応援体制がどうなっているのか、組織体制がわからない ・施設の入所者がコロナに感染していたら、どう入院の方向性を考えたらよいかわからない 	
<p>家族の面会はこれからどうしていったらよいか。 衛生物品の準備</p>	

(その他)

<p>4. あなたやあなたの施設で、新型コロナウイルスで困ったことは何ですか。主なものをあげてください。</p>	<p>5. 今後の再流行(第3波)に備えて、北空知広域で取り組むべき対策等について、ご意見があればお書きください。</p>
<p>実際の施設でクラスターが起きた場合、理想と現実があり、どこまで指導できるのか、詳細な対応について、具体的な話は、行政サイドにもなく、一緒に考えるしかないと思っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生物品の確保 ・PPE着脱等の感染症対策の研修会(感染症認定看護師が講師)
<p>地域の中で必要な取組について</p>	<p>地域の中で必要な取組について</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・特に最初の頃は、コロナに関する知識が十分になかったために、住民や職員に必要以上に不安感が広がり、デマも広がった。 ・個人情報の保護が小さい町では難しい。 	<p>地域でのPCR検査体制の整備</p>
<p>平常業務(事業、外勤)の制限</p>	<p>物品、職員、宿泊などの共有化が必要だと思います。</p>
<p>感染防止物品の在庫数減少</p>	<p>情報発信、情報共有、ソーシャルディスタンスの徹底</p>
<p>何が予防に有効かわからなかった。又物資が手に入らなくて困った。</p>	<p>感染対策の情報共有</p>
<p>現段階において身近に実際の感染発症例はありませんでしたが、常日頃漠然とした不安と恐怖感を持っています。 限られた人員で業務が莫大に増えているのも事実です。</p>	<p>活用できる社会資源は多くないと思うので、クラスターを起こさないための知識の習得など、一部の施設などが取り組むのではなく、全体で共通の認識で取り組む必要があると思う。 横のつながり、情報共有の重要性を意識して！ コロナ禍で災害が起きたときの想定も。</p>
<p>発熱などで、感染症対策として動きたいが、コロナかもしれないとウワサだけ一人歩きしてしまうため、情報発信しにくくなる。</p>	<p>他都府県からの生徒がいる高校、短大の学校サイドがコロナ感染症に対して無関心。お盆の帰省にも何の対策も持っていないよう。特に短大は心配。</p>
<p>夏休み期間の移動への対応</p>	<p>情報を共有できる体制作り</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・全国、道内での流行がある中、北空知内ではさほど流行していない現状があるため、意識の統一がむずかしい。 ・「正當にこわがる」ことが難しい。 	<p>どこも限られた人員体制の中で事業運営しているので、可能な限り色々な面で協力しながら、この難局を乗り越えられたらと思いました。 備えあれば憂いなし、この言葉に尽きると改めて思いました。</p>
	<p>地域職員の意識の向上 病院や施設職員と比べると、職場によって意識の差がある飲食店では対応が実施されていない現状</p>

新型コロナウイルス感染症対策研修会 アンケート

令和2年8月3日（月）

研修会、お疲れさまでした。本日の研修会についてアンケートの記入をお願いします。
あてはまる番号に○を記入してください。

1. あなたの所属についてお聞かせください。

- ① 医療関係 ② 介護・福祉サービス関係 ③ その他

2. 本日の研修会は参考になりましたか。

- ① 大いに参考になった ② 参考になった ③ どちらともいえない
④ あまり参考にならなかった ⑤ 参考にならなかった

3. 本日の研修会で、感染症予防対策について、あなたが所属する施設等で取り組もうと
考えたことは何ですか。（複数回答可）

- ① 衛生物品の準備
② 職員の体調チェック
③ 感染予防について正しい知識の習得
④ 感染対策マニュアルの作成、もしくは確認
⑤ 感染者が発生した場合のシミュレーションの実施
⑥ クラスターが発生した場合の地域事業所間の連携の検討
⑦ その他（ ）

4. あなたやあなたの施設で、この間の新型コロナウイルスの流行で困ったことは何ですか。
主なものをあげてください。

5. 今後の再流行（第3波）に備えて、北空知広域で取り組むべき対応策等について、ご
意見等があればお書きください。

ご協力ありがとうございました

【北空知地域医療介護確保推進協議会】